

健康と光線

発行所

〒153-0063

東京都目黒区目黒

4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行

会費年500円

電話 東京(03)

3793-5281

3712-5322

増加傾向にある難治な皮膚病

尋常性乾癬^{かんせん}は表皮細胞が角化過程で異常に増殖する角化異常症で、皮疹は極めて特徴的です。すなわちまわりの正常な皮膚とは境界が明確なやや平らに盛り上がった紅斑の表面に厚い銀白色の鱗^{りん}のようなもの(鱗屑^{りんせつ}という)をつけ、いつも乾燥している、水泡を作ったりただれたりしません。皮疹は数個から数百個まであり、滴状の小さいものから融合して大きな局面を作るものまでさまざまで、身体の何処にでも出ますが、頭部、四肢の伸側の肘頭や膝頭、仙骨部、外陰部などに多発します。好発年齢は30歳から50歳で、欧米人に多いことが知られていました。が、わが国でも明らかに増加傾向にあり、10万人前後の患者がいると見なされています。なお病因は不明な点が多くよく分かって

ていません。

治療はステロイド外用薬が最も汎用されています。しかし治療に抵抗する例も多く、また対症療法のため中止すると再発を繰り返し、完全に治すことが難しい皮膚病です。

尋常性乾癬に対するサナモア光線療法の効果

—現代医学の治療法との対比—

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

治療には日光浴が良い

古代エジプト医学、古代インドのアールベータの時代から、可能な限り日光を浴びて皮膚が褐色になるまで日焼けすると皮疹が改善することが知られており、紫外線に対する感受性を高めるためにレモン、ライムなどの果実を用いたことが記述されています。この治療手技を応用

皮疹に塗布するか内服させ、長波長紫外線(UVA)を照射する光化学療法です。この治療法にはDNA合成抑制の薬理作用があることが解明され、尋常性乾癬以外にも、難治なアトピー性皮膚炎^{あといピーせいひふえん}、尋常性白斑^{かんせうせいはくはん}、脱毛症^{めつもうしやう}、掌蹠膿疱症^{てんてくろうほうしやう}など多くの皮膚疾患に用いられています。

このプバ療法とサナモア光線療法の相違点は、プバ療法は薬

の副作用の關係で決められた方式で病院で行われるのに対し、サナモア光線療法は太陽光線の全有効波長を利用する自然療法ですから、紫外線の吸収を赤外線が助け、薬は使わないので副作用はなく、皮疹が改善するまで繰り返し続けられることです。また皮疹が改善した後にも治療を続けることで、再発防止に効果を発揮します。

注目されるビタミンDの効果

二十世紀の初頭に光線がカルシウム代謝調節因子のビタミンDを生成することが同定された。

いビタミンDを過剰に投与すると重篤な副作用を呈するビタミンD過剰症を起こし、この副作用に先行して高カルシウム血症を認めることから、カルシウム代謝調節因子としての作用が弱く細胞分化誘導作用が強いビタミンD関連物質に関する研究が盛んに行われています。

尋常性乾癬では、ビタミンDが表皮細胞のビタミンD受容体を介して角化異常による細胞の異常増殖を抑制することから、既に外用薬としてカルシウム代謝調節因子としての作用が弱いビタミンD関連物質が用いられ、治療効果のあることが明らかにされています。

ところでサナモア光線療法で生体が必要とするカルシウム代謝調節因子としてのビタミンDが生成されると、その後はカルシウム代謝に対する活性が弱いビタミンD関連物質が生成され、ビタミンD過剰症は決して起こさないことが分かっています。このビタミンD関連物質に細胞分化誘導作用がある可能性は示唆されており、サナモア光線療法の尋常性乾癬に対する効果は、光線自体とビタミンDの作用が相まって表れると考えるべきでしょう。

一病息災

一病息災

接触性皮膚炎

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

接触性皮膚炎は、外来性の物質(化学物質や天然タンパクアレルギーなど)が、皮膚に接触することによって発症する皮膚の炎症性疾患ですが、皮膚の病気のなかでも頻度の高い疾患です。その発症機序において、接触性皮膚炎は、免疫関与の有無即時型か遅延型か、あるいは光の関与の有無によって六つのタイプに分類されますが、本症例

は、皮膚に接触した軟膏とローションが生体の免疫機構を介して間接的に組織を傷害するアレルギー性接触皮膚炎に該当します。一般に、接触性皮膚炎の病変は、原因物質が接触した部位に局限して生じるため、主婦手湿疹のように合成洗剤が原因となる場合には両側手背に見られますが、接触した部位を越えて皮膚が生じる場合もあり注意が必要です。よって接触性皮膚炎が疑われた場合には、いつ、どの部位から等の発症状況、既往

歴、生活環境、職業などが重要となります。参考のために、**皮疹の部位と主な接触源**について列挙しますが、私達の日常生活に関係するあらゆるものが原因となりうることを知る必要があります。

被髪頭部(染毛剤、シャンプー、帽子)、**顔面**(化粧水、クリーム、サンスクリーン剤)、**口唇**(口紅、リップクリーム)、**口腔粘膜**(歯科金属)、**耳**(イヤリング、補聴器)、**頸部**(ネックレス)、**体幹**(食物、衣類、ボ

症 例: 53歳、女性。

主 訴: 両側の上腕から体幹、両側大腿にかけての湿疹。

既往歴: 薬疹(抗生剤、抗結核薬、風邪薬など)

起始・経過: 約10日前頃、右上腕、腹部、背部に虫刺されのような小さな湿疹を数か所認めたため、近医皮膚科を受診。そこで、アンダーム軟膏とパスタロンローションを処方されたため、前者を点在する湿疹に、後者を広い範囲で塗り始めたところ、数日後から、塗布した部位を中心として、皮膚は発赤しかゆみを伴い、徐々に表皮が剥離し、滲出液が漏出してきた。軟膏の塗布を中止して様子を見ていたが、湿疹の範囲が拡大してしきたため来院した。

治 療: ①側臥位にて30分、4灯照射。

前胸部(AB)、背部(AB)、下腹部から大腿内側(AB)、足裏(AB)。

②仰臥位にて30分、2灯照射。

右腋窩から前胸部(AB)、左側腹部(AB)。

経 過: 在宅での光線療法を毎日続けながら、1日おきに全身照射を開始した。初回治療の翌日から、表皮は剥離して、新しい皮膚が再生され始め、3回目頃から滲出液もみられずかゆみも消失し、6回の治療でほぼ軽快した。

病気と光線療法

本症例では、皮膚科で処方された塗布薬が皮膚炎を引き起こしたわけですから、治療の基本は薬物の中止となります。一般に、薬が原因とは考えにくいのが普通ですが、即座に中止し、その後何も塗らずに光線療法のみで治療したことが早い治癒に結びつきました。光線療法は皮膚で起こっている炎症反応に対して、消炎効果を発揮するとともに、痒みを抑え、表皮の剥離を促進し、剥れた後の皮膚の再生に関与します。さらに健康な皮膚を保ち、さまざまな皮膚病の予防に対しても光線浴は有効ですから、普段から光線療法を行い、皮膚を鍛えるよう努めることが肝要です。

ディソープ、臀部(おむつ、便座、外用薬)、前腕(時計、腕輪、植物)、手(洗剤、手袋、植物、土、マニキュア)、下肢(衣類、靴下止め、ストッキング)。

第七期

サナモア光線治療師養成講座
のお知らせ

第七期サナモア光線治療師養成講座を、十月に東京にて開講します。光線治療院の開業を検討されている方やサナモア光線

サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.11

宇都宮 正範

開 講 日 程

10月26日(土) 午前10時～午後5時
10月27日(日) 午前10時～午後5時
10月28日(月) 午前10時～午後5時

連絡先 サナモア光線治療院
TEL 03-5759-3710

第十一回

「光と熱研究会」の
お知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。

日時…十月十九日(土)午後二時
場所…サナモア光線治療院
三階会議室

治/療/院/紹/介

このコーナーでは、新規に光線治療院を開業された先生方や、既に開業されてご活躍中の先生方を紹介させて頂いております。

森力イロ療術院 (写真上)

(平成十四年二月十一日開院)

電話…〇七四五七八・五三三六

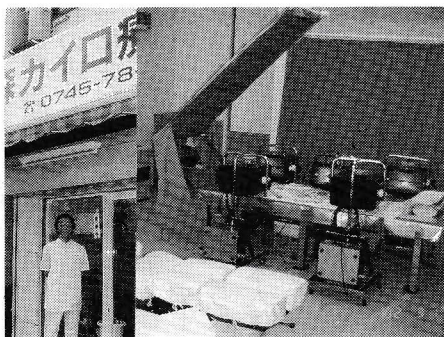
住所…奈良県北葛城郡上牧町服部台一五一一

部台一五一一

交通…JR王寺駅下車バス十五分

院長…森徹郎先生

一言…以前から光線療法の普及に尽力して参りましたが、この度、この地に移り、心機一転、開院致しました。



森徹郎先生(左下)と治療室

た。これまで培った経験

から、身体の内面に働き自然治癒力を高める光線療法は、現代医療で解決困難な疾患に対し唯一有効な手段と考えています。皆様のご期待に添うようがんばりますので、御支援の程よろしくお願い致します。

たいよう光線治療院 (写真下)

(平成十四年六月一日開院)

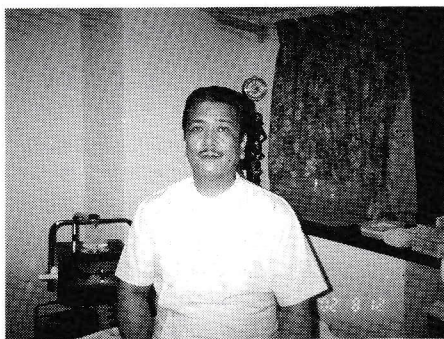
電話…〇九七五三二二七〇

住所…大分市金池町一七二二

パークサイド大分駅まえ

八〇二

交通…JR大分駅前徒歩二分



太田幸作先生

院長…太田幸作先生

一言…地元のケーブルテレビの取材を受け、一時間番組として、一週間連続して放送して頂いたのですが、反響の大きさに驚いています。これから一人でも多くの方の健康増進にお役に立つようがんばる所存であります。

おかげさまで
サナモア光線治療院も
二周年

一昨年九月に開院した治療院も、無事、二周年を迎えることができました。この間、多くの方にルーフ式マルチ・アーク療法による全身治療を施行して、好評を得ておりますが、この度、開院二周年を記念致しまして、初診の方に限り、治療費半額(2500円)にて体験して頂くことと致します。

(お一人様四回まで)

期間は平成14年12月27日(金)までですが、これを機に、是非一度、ルーフ式マルチ・アーク療法をご体験ください。

(予約制)

治験例報告

慢性腎不全で医師に
人工透析を勧められたが

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 45歳 男性 自営業
症状 2年程前から疲れやすくなっていたが、最近、顔色不良で食欲も低下してきたため近医を受診。そこで腎機能の低下を指摘され人工透析療法を行う必要があると説明された。このため違う病院を受診し、セカンド・オピニオンを求めたところ、現状では今直ぐに人工透析療法を受ける必要はなく、しばらく、薬物療法と食事療法でやってみましょうと説明された。この時、偶然にもサナモア愛用者である先輩から光線療法を勧められ来所した。

療法経過 BDカーボンで腰部10分、腹部20分、足裏10分、膝10分照射後、集光器を使用して、喉10分、後頭部10分をそれぞれ照射した。翌日から、借りた光線治療器で自宅治療を開始した。この際、カーボンの組み合わせは、BDカーボンとADカーボ

ンを交互に用いること、体調をみながら、毎日二回は照射することを指示した。一週間後に来所した時には、尿の出が良くなり、尿量も増え、夜間就寝時の尿の回数が減ったとの報告を受

け、一か月後の連絡では、食欲も改善し顔色も良好となり、以前のような疲れは感じなくなつたとのことであった。さらに治療を続けたところ、三か月後の病院での血液検査では、データーは正常範囲に近づき、もう大丈夫だろうと言われたが本人は毎日の生活に気を配りながら、光線療法を日課として励んでいる。

(TEL 078-331-1356)

治験例報告

悪性黒色腫の術後縫合不全が
きれいに治った

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 80歳 女性
症状 足裏にできた悪性黒色腫を切除したが、術後の経過が良好でなく、傷がなかなか塞がらず、ジクジクした状態が続き、歩行にも支障をきたす程であった。病院でもお手上げの状態であったため、知人に光線療法を紹介され来所した。

療法経過 当初から自宅での治

療を希望していたため、光線治療器を購入されて在宅治療を開始した。カーボンは、AD、B

D、DDを使用し、患部の足裏を30分以上照射し、気持ち良ければ少しでも長時間照射するように説明し、さらに基本照射は、各々10分程度から始めて、肌が光線に慣れてきたところで、徐々に時間を長くするように指示した。

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たせませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

㈱東京光線療法研究所

治験例報告

ベーチエット病に
対する光線療法

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 59歳 女性 パート
症状 以前からベーチエット病と診断され、通院治療を受けていたが、病状が思わしくなく、

口内炎、外陰部潰瘍、膝関節炎等の症状に悩まされていた。その際、偶然にもサナモア愛用者で

さらに高齢であることを考慮して、治療の前後に必ず水分を摂取するように指示を加えた。数か月後に足裏の患部もからからに乾いた状態で、歩行も可能となり、光線療法を行うのを毎日楽

しみにしているとの連絡を受け、さらに、それから数か月後には、再発することもなく完治したと報告を受けた。

(TEL 092-581-0394
五七二一五七三)

(4ページからつづく)

ある友人に相談したところ光線療法の存在を知り、治療目的にて来所したが、初回治療でとても気持ち良く感じ、光線治療器を購入し自宅治療を併用で行うこととなった。

療法経過 最初はBDカーボンを使用し、顔面5分、口の中10分、大臀筋15分、腰部15分、膝15分を4灯で同時照射。次に側臥位にて、下腹部30分、足裏30分、後頭部10分照射。さらに仰

治療例報告

とうとう 橈骨神経麻痺が

驚くほど早く軽快

奈良県 森カイロ療術院

森 徹郎氏報告

症例 50歳 男性 会社員
症状 会社からの帰宅途中、車内で頬杖をついて居眠りをし、目覚めた時に左手に力が入らないことに気が付いた。手首を背屈させることもできず、茶碗ももてない、ボタンもかけられない状態であったため、医師の診察を受けたところ、圧迫による橈骨神経の損傷で、橈骨神経麻痺と診断された。さらに、脱髄

した神経の再生速度は1日に約1mmであり、治るまでに3か月以上の時間が必要であると説明され、ビタミン剤の服用、リハビリ治療を受けるよう指示されたが、光線療法で治したいと来所した。

療法経過 最初に右側臥位にて、左肩関節周囲から上腕にかけて前後からはさみこむように照射(BB)。この時、後頭部(A

臥位としてから、左耳から左頸部10分、右側腹部10分、左膝側面10分を照射後、右耳から右頸部10分、左側腹部10分、右膝側面10分の同時照射を行った。自宅での治療は、1日2回行っても良いと指示したが、治療には時間を要し根気が必要であると説明した。現在、当院での治療と在宅治療を併せて行っているが、症状は徐々に安定しており継続治療中である。

(TEL 〇四四一七三二五〇六七)

治療例報告

腰椎椎間板ヘルニアに対し 即効性効果を認めた

西東京市 ひばりヶ丘治療院

野島 豊子氏報告

さらに、座位にて腰部(BB)

症例 40歳 男性 調理師
症状 六か月程前から、腰部に激しい痛みと時々左右の臀部にはしる痛みを自覚。仕事で立ち仕事であること、新座市から渋谷までの通勤の負担がとくに多かったため、近医整形外科を受診した。そこで、腰椎椎間板ヘルニアと診断され、鎮痛剤と筋弛緩剤の内服で様子をみるように説明を受けたが、一向に症状が改善しないため、治療目的にて来所した。

療法経過 左側臥位にて5灯照射、45分施行。腰部(BB)、腹部(AB)、膝(BB)、ふくらはぎ(BB)、足裏(AB)。

B)、腰(BD)、足裏(AB)を同時に35分照射した。2日おきに治療を行い、3回目の治療から、肩から上腕への照射はBDカーボンに変更した。徐々に指先の神経に感覚が戻り始め、

4回終了時には手首の背屈が少し可能となった。治療開始4週目では、第2、3指の伸展が可能となり、5週目で手首の背屈が、6週目では全指の伸展と力を入れることが可能となった。

さらに治療を続けたところ、8週目にはほぼ完治の状態となり、治療までに要した期間は、当初の医師の予測を大幅に短縮する結果となり、患者も驚かれていた。
(TEL 〇七四五七七八五三六)

全自動光線治療器 はつらつさんと ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

20分照射した。2回目の治療施行後、症状は軽くなったが、まだまだラッシュ時間帯での通勤には支障があると報告。5回治療終了時点で、痛みもほぼ感じなくなり、元気に通勤が可能となり、仕事に復帰することができた。
(TEL 〇四四一三三七二三)

サナモア光線療法 体験記

サナモアは 私の大切な宝物

印旛郡 池〇清〇様

私は66歳の女性です。30歳の時に胃潰瘍を患い、サナモアと出会いました。それから36年、サナモアは私の宝物になりました。でも勝手なもので、胃がすっかり良くなり、1年も押し入れに眠っていたこともありましたが、時々、思い出したように、骨折した時、腰痛の時などに使っていました。その間、サナモアは、一度だけ修理をお願いしましたが、元気で健在でした。最近コレステロール値が高いと言われ

たので、この二か月間、毎日かけたところ、おかげさまで、コレステロール値は正常に戻りました。サナモアは自分の好きな時に使えるので、本当に便利で重宝しています。

やけどに光線が 効いてびっくり

柏市 村〇フ〇様

てんぷらを揚げている時のことです。油がはねて中指、薬指と指の間にやけどをしました。普通やけどは冷やすものと思っていたから、最初、光線をかけるのをためらったのですが、思い切って、10分ずつ3回続けてかけました。1回目、2回目かけている時は相当に痛かったのですが、3回目が終わった時には、痛みがスーッと消えて楽になりました。後は水疱もできず1週間後くらいに、皮がはがれて完治しました。今回の経験で、さらにサナモア光線の力を実感いたしました。

健康維持には サナモアが 欠かせない

阿蘇郡 中〇け〇子様

73歳になります。十数年来、サナモアで健康を維持してきました。特に痛む箇所はないので、腹部、腰部、足裏を中心にA Bカーボンで照射しています。ただ三年前前に老人性白内障の手術をしてから、後頭部にも照射を加えています。とても調子は良いようです。これからも、「健康と光線」を読んで、健康維持のために光線療法を続けたいと思っています。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。ついでに体験記をお送りください。お願いします。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五三二八
三七二一―五三二二

(本紙の無断転用を禁止します。)